

講義名	言語学特殊研究 B
Name of Course	Advanced Study in Linguistics B
担当教員 / Instructor	岩本 遠億(イワモト エノク)
単位数 / Credit	4
学期	後期

使用言語 Language	日本語
語学基準 Language Level	
授業の目的 Course Descriptions & Objectives	<p>語の意味を知っているとはどういうことか。語の意味を構成する要素とは一体どのようなものか。語の意味を合成して文の意味にする規則はどのようなものか。語の意味と合成規則を知っていたら文の意味は完全に理解できるのか。文の意味を理解するために果たす語彙の役割と文脈的知識との関係はどのようなになっているのか。本講義では、語彙意味論に関する研究を概観して、語の意味に含まれる要素としてどのようなものが仮定され、それがどのような一般化を目指していたか、文の意味解釈の決定には、語の意味以外にどのような要因が関わっているのかを考察する。さらに、言語によって語が内包する意味要素の種類に傾向があることを論じる類型論から、教育や翻訳に結びつく一つの視点を提供する。</p> <p>This course will foster students to acquire knowledge concerning the current understandings of the mechanisms of semantic interpretation from both lexical semantic and contextual perspectives. Contrary to the traditional assumption that the meaning of a sentence is defined by assembling information from its parts, i. e., words or morphemes, it is widely recognized that there are many cases where sentential interpretation is supplemented by contextual information and the knowledge of the world that is embedded in the lexicon. Students will read some of essential works of the field not only to understand the issues but also to acquire skills to analyze given sentences using the concepts they will learn.</p>

サブタイトル Subtitle	語の意味と文の意味	
授業の計画 Lecture Topics	第1回	語彙知識の内部構造：項構造（項構造と統語構造、形態構造の関係）(1) 影山太郎（1994）『文法と語形成』ひつじ書房、第2章.
	第2回	語彙知識の内部構造：項構造（項構造と統語構造、形態構造の関係）(2) 影山太郎（1994）『文法と語形成』ひつじ書房、第2章.
	第3回	語彙知識の内部構造：事象構造（下位事象分析）(1) 影山太郎（1996）『動詞意味論』くろしお出版、第3章
	第4回	語彙知識の内部構造：事象構造（下位事象分析）(2) 岩本遠億（2008）『事象アスペクト論』開拓社、第2章 Pustejovsky, J. (1991) Syntax of Event Structure. In Levin and Pinker (eds.)
	第5回	語彙知識の内部構造：概念構造（語彙的意味の分解）(1) 大室剛志「概念意味論」『入門生成言語理論』ひつじ書房、第3章.
	第6回	語彙知識の内部構造：概念構造（語彙的意味の分解）(2) 米山三明（2001）『語の意味と意味役割』研究社、第一部 米山三明（2009）『意味論から見る英語の構造』開拓社、1章、2章
	第7回	語彙知識の内部構造：概念構造（語彙的意味の分解）(3) Jackendoff (1983) Semantics and Cognition, 8章. MIT Press
	第8回	語彙知識の内部構造：クオリア構造（語彙的意味の構成部門）(1) 小野尚之（2004）『生成語彙意味論』くろしお出版、序章、1章
	第9回	語彙知識の内部構造：クオリア構造（語彙的意味の構成部門）(2) 小野尚之（2004）『生成語彙意味論』くろしお出版、2章
	第10回	語彙知識の内部構造：クオリア構造（語彙的意味の構成部門）(3) Pustejovsky (1995) The Generative Lexicon, MIT Press, 2章
	第11回	語彙知識の内部構造：クオリア構造（語彙的意味の構成部門）(4) Pustejovsky (1995) The Generative Lexicon, MIT Press, 3章.
	第12回	語彙知識の内部構造：語彙的意味の詳細 Wierzbicka, Anna (1984) Lexicography and Conceptual Analysis, Caroma Pub. より抜粋
	第13回	文の意味の決定方法：単一化規則（概念構造の合成方法） 大室剛志「概念意味論」『入門生成言語理論』ひつじ書房、第3章. Jackendoff (1987) The status of thematic relations in syntactic theory, Linguistic Inquiry 18: 369-411.
	第14回	文の意味の決定方法：意味の隙間を埋める（1） 小野尚之（2004）『生成語彙意味論』第3章～第5章くろしお出版
	第15回	文の意味の決定方法：意味の隙間を埋める（2） Jackendoff (1997) The Architecture of the Language Faculty, MIT Press,

	3章
第16回	中間テスト
第17回	日本語名詞述語文 (XはYだ) の意味解釈 (1) 西山佑司 (2003) 『日本語名詞句の意味論と語用論—指示的名詞句と非指示的名詞句』 ひつじ書房
第18回	日本語名詞述語文 (XはYだ) の意味解釈 (2) 西山佑司 (2003) 『日本語名詞句の意味論と語用論—指示的名詞句と非指示的名詞句』 ひつじ書房
第19回	日本語名詞述語文 (XはYだ) の意味解釈 (3) 今泉水穂 (2012) 「名詞述語文の生成語彙論的解釈」『文芸言語研究 言語編』 61, pp. 83-101, 筑波大学
第20回	多義語の意味派生：同訓異字 (1) 森田良行 (1989) 『基礎日本語辞典』 角川書店
第21回	多義語の意味派生：同訓異字 (2) 國弘哲彌 (1982) 『意味論の方法』
第22回	多義語の意味派生：同訓異字 (3) 岩本遠億 (2017) 「シメルの多義性とクオリア構造」『言語科学研究』 神田外語大学
第23回	多義語分析の実際：ワークショップ
第24回	文脈的意味：語用論 (1) ウィルスン、ディアドリ・ティム ウォートン (2009) 『最新語用論入門 12章』 大修館書店
第25回	文脈的意味：関連性理論 (2) ウィルスン、ディアドリ・ティム ウォートン (2009) 『最新語用論入門 12章』 大修館書店
第26回	文脈的意味：関連性理論 (3) ウィルスン、ディアドリ・ティム ウォートン (2009) 『最新語用論入門 12章』 大修館書店
第27回	ポライトネス (1) Brown, P. & S. C. Levinson (1987) Politeness: Some Universals in Language Usage. Cambridge: Cambridge University Press. 田中典子 監訳、斉藤早智子・津留崎毅・鶴田庸子・日野壽憲・山下早代子 訳 (2011) 『ポライトネス—言語使用におけるある普遍現象』 研究社
第28回	ポライトネス (2) Brown, P. & S. C. Levinson (1987) Politeness: Some Universals in Language Usage. Cambridge: Cambridge University Press. 田中典子 監訳、斉藤早智子・津留崎毅・鶴田庸子・日野壽憲・山下早代子 訳 (2011)

		『ポライトネス-言語使用におけるある普遍現象』 研究社				
	第 29 回	ポライトネス (3) 宇佐美まゆみ (2001) 「談話のポライトネス — ポライトネスの談話理論 構想」 国立国語研究所編 『談話のポライトネス』 国立国語研究所				
	第 30 回	期末テスト				
テキスト Textbooks	番号	書籍名 Title	著者 Writer	出版社 Publisher	出版年 Published the year	ISBN
	授業計画に記載したもの					
参考書 Reference Books	番号	書籍名 Title	著者 Writer	出版社 Publisher	出版年 Published the year	ISBN
成績評価の方法 Grading	中間・期末テストと中間・期末レポート					
その他 Additional Comments						
参考 URL Reference	番号	表示名 Site name	URL		説明 notes	
注意事項 Instructions to Students						